

リアルとバーチャルでカガクをツタエル

科学コミュニケーター

本間善夫 先生

事前課題：

[1]～[5]については1件以上選択し、参加内容や感想、考察したことをレポートにまとめる。[6]は全員必須で作成すること。

[1] サイエンスカフェの実例（私も聴きに行く予定です）

8/20 開催：WEcafe vol. 63

「水に流すとどこに行く？～東京湾でみる環境汚染～」

【会場】 さんさき坂カフェ（東京・谷中）

<http://blog.goo.ne.jp/wecafe/e/312f2cf60683575b88b5e67867e12994>

※参加費 500 円＋ワンドリンクオーダー

※定員 20 名のため予約が取れない場合は他の課題にしてください。

[2] 科学館の企画展の例として（10/1 まで開催，休館日に注意。）

深海 2017（上野・国立科学博物館）

<http://shinkai2017.jp/>

※入場料 学生証を提示し割引料金（620 円引き）にて購入すること（下記参照）。

<http://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/07.html>

[3]（Facebook 利用者のみ） ソーシャルメディアを利用した情報発信例を参考に SNS 活用について考察

https://www.facebook.com/?sk=fl_245856648842342

…本間作成の Facebook 科学情報集（研究機関や個人。画像・動画の重要性；国内外の比較など）

[4] 以下に収載の『地域づくりの種としての草の根サイエンスカフェ —新潟・富山での取り組み』ほかを読んで自分がサイエンスカフェを開催する方法について考えてレポートにする。

https://www.sciencecommunication.jp/journal/papers/?action=common_download_main&upload_id=2741

[5] これまでにサイエンスカフェや科学館のイベントなどに参加したことがある方はその内容や感想などを簡単にまとめてください。

[6] 《必須》 自分で学んでいる分野や関心のあるテーマがわかるようにした自己アピール名刺を作成する（科学イベントで会った人と情報交換用に。住所，電話番号，SNS アカウソトの記載には十分注意すること）